

国立国会図書館所蔵『薫集類抄』影印と翻刻（上）

田 中 圭 子

序

平安末期に歌人、歌学者、儒者として活躍した公卿藤原範兼が、勅により編纂したとされる薫物指南書『薫集類抄』原本の装丁は、上下二軸の卷子本と考えられてきた。刊本を含む現存諸本十本のうち、この装丁を伝えるのは、平成一六年（二〇〇四）一月より一般公開されている国立国会図書館東京本館古典籍課所蔵の一本（以下「国会図書館本」と略す）に限られる。^{（注）}

国会図書館本は、書写者、書写年次未詳。桐外箱蓋表に本文とは異筆で「薫集類抄 二軸」と見え、上下巻表紙には書写者とよく似た筆跡で「薫集類抄 上」、「薫集類抄 下」と記した題箋がそれぞれ貼られる。表紙には、丸に龍の文様を織り出した白地の綾を使用。紙の寸法は縦26 cm。上下巻冒頭には、「特許局図書印」ならびに「大正12年9月1日第894號特許局図書館」なる特許局印二顆が存する。

「特許局図書館」とは、明治二〇年（一八八七）一二月、旧農商務省庶務部内に設置された図書館である。特許行政に関する図書や記録文書、ならびに商標見本などの資料を中心に収蔵したが、設立当初の藏品、蔵書の全容は、既存の資料に明らかでない。国内産業振興を目的に、旧特許局図書館の蔵書、藏品を展覧する一分掌として設置された

「陳列所」は、明治三八年（一九〇五）、「特許局陳列館」として設立、大正七年（一九一八）には旧特許局図書館と併設された。施設とともにその内容も充実するに至ったが、大正一二年（一九二三）九月一日に発生した関東大震災により、蔵書、蔵品の大部分が失われたと云う。

昭和八年（一九二八）に西洋式の新局舎が落成すると、蔵書、蔵品は再び拡充された。昭和二三年（一九四八）二月、旧特許局図書館は「国立国会図書館支部特許局図書館」に改正され、旧特許局陳列館も再建された。陳列館は、昭和二七年（一九五二）に「特許庁万国工業所有権資料館」、平成九年（一九九七）に「特許庁工業所有権総合情報館」と改称を重ねるとともに、組織改変も繰り返し行われ、平成一三年（二〇〇一）四月の独立行政法人化を経て平成一六年（二〇〇四）一〇月に現行の「工業所有権情報・研修館」に改められた。国立国会図書館支部特許局図書館の機能は、独立行政法人化に伴い、総務部特許情報課職員閲覧室に移管され、今日に至る。（注2）

『薫集類抄』国会図書館本の旧特許局図書館への搬入は、印記によれば、大正一二年（一九二三）九月一日付で行われた事になるが、この日付は関東大震災発生当日のそれであるから、特許局への搬入作業そのものは、前日の八月三十一日までに行われたと考えるべきであろう。蔵書、蔵品の多くが失われた中で、本伝本は幸いにも難を逃れ、七三年後の平成八年（一九九六）八月二十八日、旧特許庁万国工業所有権資料館工業所有権参考資料センターから国立国会図書館東京本館へ寄贈された。国立国会図書館主題情報部古籍課所蔵の「和装本の国立国会図書館への寄贈に至る経緯」と題する覚書によると、平成八年の寄贈当時、旧特許庁側の「資料班」には、関東大震災から三ヶ月後の大正一二年（一九二三）一二月編纂の「貴重図書目録」が残っており、そこに本伝本に該当する和装本の書誌情報も確認されたと云う。（注3）

「貴重図書目録」は、大震災の難を逃れた当時の貴重書の数量と内容を把握し、また、国会図書館本の伝来を知

うとする上で重視すべき資料であるが、平成一七年（二〇〇五）四月二〇日付で現行の工業所有権参考資料センターから筆者へ寄せられた回答によれば、その所在は明らかでなく、繰り返し行われた組織等改変に際して廃棄された可能性が高いと云う。なお、昭和四一年（一九六六）三月ならびに昭和五九年（一九八四）三月発行の『特許庁蔵書目録（和書）』は、『薫集類抄』国会図書館本に該当する和装本の書誌情報を載録していない。

一方で、他本との比較検討の道は残されている。東本願寺園林文庫旧蔵の四天王寺国際仏教大学図書館恩頼堂文庫所蔵の一本（以下「恩頼堂文庫本」と略す）は、国会図書館本かその底本を臨模して為るものと考えられるほか、元祿慶応間に開業していた書肆天王寺屋市郎兵衛を介して東本願寺に到来した由を記した添え状も伝わる。また、恩頼堂文庫本と同系統の諸本は、伏見宮家に蔵されたと云う「寂蓮法師真蹟」なる一本（以下「伝寂蓮本」と略す）を底本として、明暦二年（一六五六）と延享二年（一七四五）に書写された伝本を祖とする旨を記した識語を巻末に伝えるが、国会図書館本は伝えていない。国会図書館本が、江戸中後期に伝承筆者寂蓮法師の由緒を伴い伏見宮家に秘蔵された一本である可能性は、検討を要す。^注なお、宮内庁書陵部蔵『伏見宮雑文書目録』（伏16）、『伏見宮蔵書目録』（伏189）、『伏見宮御記録類目録』（伏197）に、国会図書館本に該当する香道書名は見えない。

本稿と続稿では、新出資料の国会図書館本の影印と翻刻を掲載する。本稿では上巻の、続稿では下巻の本文と裏書動物をそれぞれ扱う。現存諸本一〇本の異同と系統分けについては、稿を改めて詳述する予定である。これを機に、国会図書館本の文学、文化、本草学等研究資料としての有用性が高まることを願っている。

注

1 『薫集類抄』の成立と諸本の伝来については、『新校群書類従解題集』（『新校群書類従』全三四巻へ昭四）各巻の解題部分を集成。名著普及会、昭五八）、『群書類従』第四巻（統群書類従完成会、昭三七）、太田晶二郎「和歌童蒙抄はどなたの為に作つ

たか」(前田育徳会尊経閣文庫小刊) 4、昭五二)、拙稿「西園寺文庫所蔵『薫集類抄』翻刻と校異(上)」、「西園寺文庫所蔵『薫集類抄』翻刻と校異(下)」、「恩頼堂文庫所蔵『薫集類抄』裏書勸物の翻刻と校異」(以上「広島女学院大学大学院言語文化論叢」第六十八号、平一五一一七)、「『薫集類抄』園林文庫旧蔵恩頼堂文庫本の研究」(『文学・語学』183号、平一八)参照。

2 旧特許局図書館の沿革については、特許庁陳列館編「特許庁陳列館 国立国会図書館支部特許庁図書館の概要」(昭二四)、独立行政法人工業所有権情報・研修館編「当館について」(独立行政法人工業所有権情報・研修館ホームページで公開、URL <http://www.nrcip.go.jp/about/index.html>、本年三月一八日アクセス)、齋藤守榮「国立国会図書館支部特許庁図書館の紹介」(『びぶろす-Biblos』一〇月号・電子化三〇号、平一七、国立国会図書館ホームページで公開、URL <http://www.ndl.go.jp/publication/biblos/backnumber/2005/10/index.html#02>、本年三月一八日アクセス)参照。

3 平成一七年(二〇〇五)三月一七日付で国立国会図書館主題情報部古典籍課から筆者に寄せられた回答による。

4 注1所掲の拙稿「恩頼堂文庫所蔵『薫集類抄』裏書勸物の翻刻と校異」ならびに「『薫集類抄』園林文庫旧蔵恩頼堂文庫本の研究」参照。

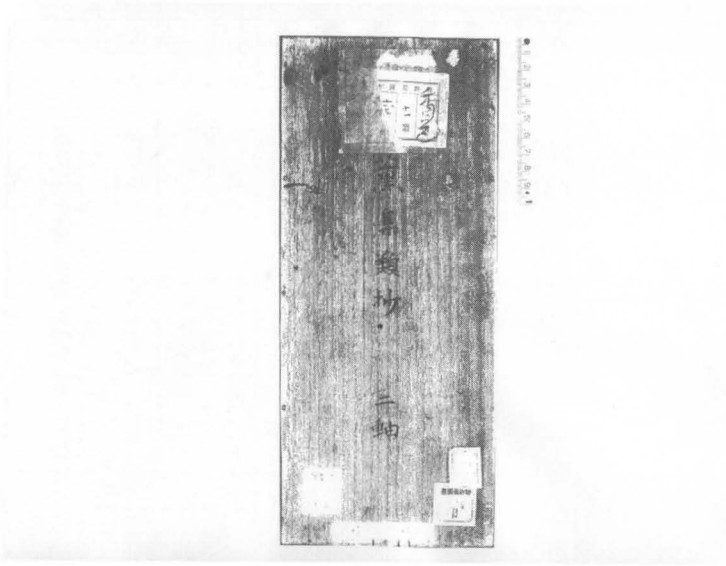
国立国会図書館所蔵『薫集類抄』影印と翻刻

凡例

一、本稿と続稿「国立国会図書館所蔵『薫集類抄』影印と翻刻（下）」は、国立国会図書館に蔵する薫物指南書「薫集類抄」伝写本（和装、上下巻二軸、幅26cm、請求記号YR1-N6）の影印と翻刻である。

一、翻刻は、拙稿「西園寺文庫所蔵『薫集類抄』翻刻と校異（上）」（『広島女学院大学大学院言語文化論叢』第六号、平一五）、「恩頼堂文庫所蔵『薫集類抄』裏書勘物の翻刻と校異」（同上第八号、平一七）で示した凡例に従い行った。但し、以下の五項目を新たに補う。

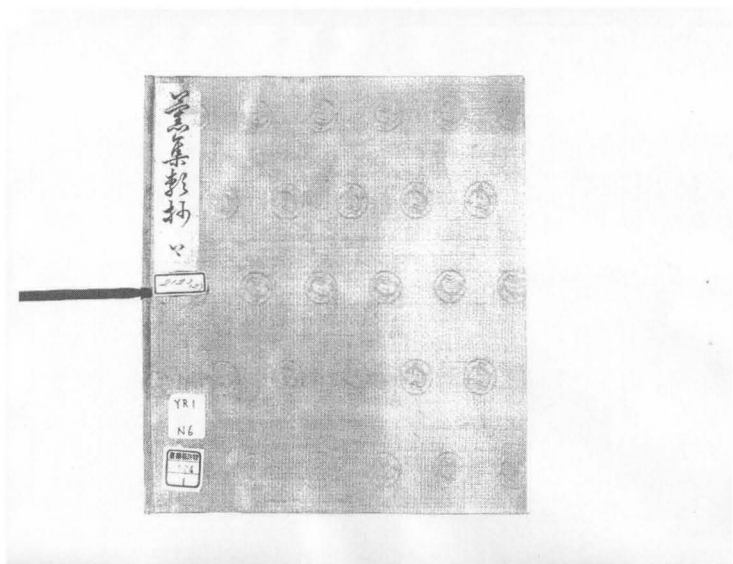
- ・ 翻刻には、本文各行下にアラビア数字で行数を示した。
- ・ 漢字の踊り字「く」は「々」として示した。
- ・ 解読中の異体字には右側に「(ママ)」を附した。
- ・ 裏書勘物の影印と翻刻は、巻末に一括した。
- ・ 裏書勘物それぞれの位置については、翻刻各行下に対応する本文の行数をアラビア数字で示した。



薰集類抄

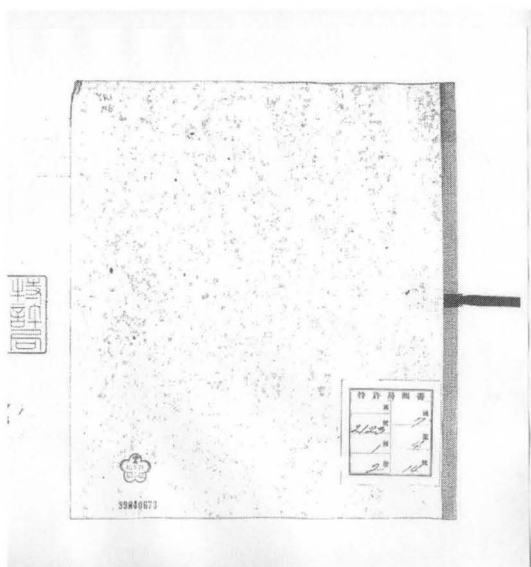
二軸

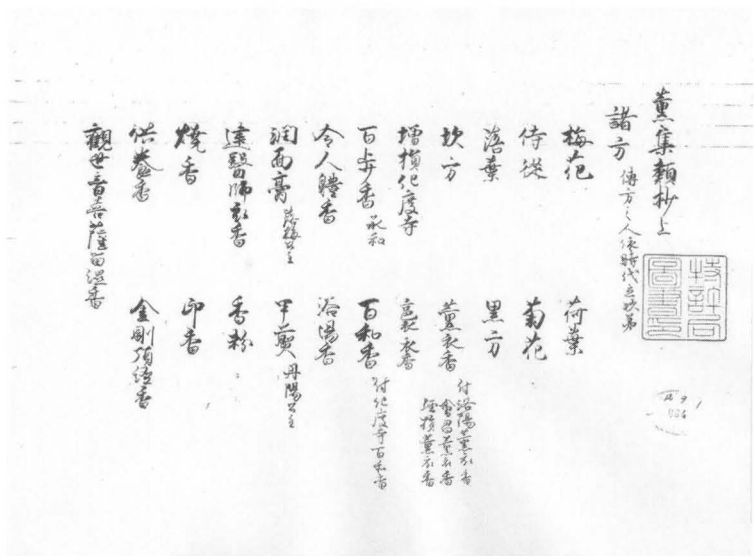
「箱書



薰集類抄
上

「外題
貼紙





薫集類抄上

諸方 傳方之人依時代立次第

- 14 諸方
- 13 梅花
- 12 侍從
- 11 落葉
- 10 坎方
- 9 增損化度寺
- 8 百歩香
- 7 令人體香
- 6 潤面膏
- 5 建醫師衣香
- 4 燒香
- 3 供養香
- 2 觀世音菩薩留濕香
- 1 荷葉
- 菊花
- 黒方
- 裏衣香
- 百和香
- 浴湯香
- 甲煎
- 香粉
- 印香
- 金剛頂經香

梅花 擬梅花之香也春打可用之

閑院大臣 冬嗣 贈太政大臣二位
右大臣內磨三男

沈八兩二分 占唐一分三朱 甲香二兩二分

甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分

麝香二分 薰陸二分

賀陽宮 名實陽 二品攝部卿
桓武天皇第七皇子

沈八兩二分 麝陶二兩三朱 甲香二兩二分

甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分

麝香一分 薰陸一分

滋宰相 滋野貞主 參議宮內卿正四位下
尾張守家諱子

沈八兩二分 占唐一分三朱 甲香三兩二分

甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分

麝香二分 已上小十五兩三朱

沈四兩一分 占唐四朱餘 甲香一兩二分三朱

甘松三朱 白檀一分三朱餘 丁子一兩一分

梅花 擬梅花之香也尤可用之

閑院左大臣 冬嗣 贈太政大臣正二位
右大臣內磨三男

沈八兩二分 占唐一分三朱 甲香三兩二分

甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分

麝香二分 薰陸二分

賀陽宮 名實陽 二品攝部卿
桓武天皇第七皇子

沈八兩二分 麝陶二兩三朱 甲香二兩二分

甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分

麝香一分 薰陸一分

滋宰相 滋野貞主 參議宮內卿正四位下
尾張守家諱子

沈八兩二分 占唐一分三朱 甲香三兩一分

甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分

麝香二分 已上小十五兩三朱

沈四兩一分 占唐四朱餘 甲香一兩二分三朱

甘松三朱 白檀一分一朱餘 丁子一兩一分

麝香一分 薰陸三朱 已上六八

沈二兩二分 白檀三朱 甲香一分 朱

甘松二朱 白檀五朱 丁子三分 二朱

麝香四分 薰陸二朱 已上小五兩一分四朱

四條大納言 源定 正二位大納言左近大將 源暲天皇孫臣

沈八兩二分 甲香三兩二分 甘松一分 五

白檀二分三朱 丁子二兩二分 麝香二分

薰陸一分

沈四兩一分 甲香一兩三分 甘松三朱

白檀一分一朱 丁子一兩一分 麝香一分

薰陸三朱 合八兩一朱

八條宮 本康 一品式部卿 仁明天皇第五親王 母從四位上滋野孫子 貞主女也

沈八兩二分 麝唐一分三朱 甲香三兩二分

日松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分

麝香二分 薰陸一分

麝香一分 薰陸三朱 已上六八

沈二兩二分二朱 占唐三朱 甲香一兩一朱

甘松二朱 白檀五朱 丁子三分二朱

麝香四朱 薰陸二朱 已上小五兩一分四朱

四條大納言 源定 正二位大納言左近大將 源暲天皇孫臣

沈八兩二分 甲香三兩二分 甘松一分 五

白檀二分三朱 四 丁子二兩二分 三 麝香二分

薰陸一分

沈四兩一分 甲香一兩三分 甘松三朱

白檀一分一朱 丁子一兩一分 麝香一分

薰陸三朱 合八兩一朱

八條宮 本康 一品式部卿 仁明天皇第五親王 母從四位上滋野孫子 貞主女也

沈八兩二分 麝唐一分三朱 甲香三兩二分

甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分

麝香二分 薰陸一分

小野宮 惟高

文德天皇第一親王

沈八兩二分 占唐一分三朱 甲香三分一分

甘松一分 白檀二分三朱 麝香二分

丁子二兩二分 薰陸一分 小定

源殿宮 貞保 二品式部卿

清和天皇第四親王

沈八兩二分 丁子二兩二分 甲子三兩二分 香歟

占唐一分三朱 白檀二分三朱 甘松一分

薰陸一分 麝香二分 或者諸香合量之後可和麝香也此說可極云々

右大辨公忠 從四位下 大藏卿紀男 仁和源氏也 母典持遠野直子也仍傳之

沈八兩 占唐一分三朱 甲香二兩二分 或三兩二分

甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分

麝香二分 薰陸一分

沈四兩一分 占唐四朱半 甲香一兩三分

甘松三朱 白檀一分一朱半 丁子一兩一分

麝香一分 薰陸三朱 已上小定

小野宮 惟高

文德天皇第一親王

沈八兩二分 占唐一分三朱 甲香三兩一分

甘松一分 白檀二分三朱 麝香二分

丁子二兩二分 薰陸一分 小定

染殿宮 貞保 二品式部卿

清和天皇第四親王

沈八兩二分 丁子二兩二分 甲子三兩二分 香歟

占唐一分三朱 白檀三分三朱 甘松一分

薰陸一分 麝香二分 或者諸香合量之後可和麝香也此說可極云々

右大辨公忠 從四位下 大藏卿紀男 仁和源氏也 母典持遠野直子也仍傳之

沈八兩 占唐一分三朱 甲香二兩二分 或三兩二分

甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分

麝香二分 薰陸一分

沈四兩一分 占唐四朱半 甲香一兩三分

甘松三朱 白檀一分一朱半 丁子一兩一分

麝香一分 薰陸三朱 已上小定

占唐代入麝香案之麝香本自在合種之
中而其代入之者又可加增麝香分歟
大和常生 延喜御時御藏小舍人也

沈四兩一分 丁子一兩一分三朱 占唐四朱半

甲香一兩一分 甘松三朱 白檀一分一朱半

麝香一分 薰陸三朱

八条大將 藤原保忠 大納言正三位右近衛大將藤原出羽按察使
左大臣時平一男 母本藤原子女從四位上藤子女王

沈四兩二分 麝香一分三朱 甲香三兩

丁子三兩 薰陸一兩 白檀三分 大定

沈四兩三分 甲香三兩 丁子三兩

薰陸一兩 白檀三兩 麝香二分四朱 大定

右皆半分造合足一臈法也分計觀其臈合
之中入青木香此合物不入之

東三條院 院字 巴殿院女御 一條院后
入道前大臣兼一舍院后

沈八兩一分 占唐一分三朱 甲香三兩二分

甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分

麝香二分 薰陸一分

占唐代入麝香案之麝香本自在合種之
中而其代入之者又可加增麝香分歟
大和常生 延喜御時御藏小舍人也

沈四兩一分 丁子一兩一分三朱 占唐四朱半

甲香一兩一分 甘松三朱 白檀一分一朱半

麝香一分 薰陸三朱

八条大將 藤原保忠 大納言正三位右近衛大將藤原出羽按察使
左大臣時平一男 母本藤原子女從四位上藤子女王

沈四兩二分 麝香二分四朱 甲香三兩

丁子三兩 薰陸一兩 白檀三分 大定

沈四兩三分 甲香三兩 丁子三兩

薰陸一兩 白檀三兩 麝香二分四朱 大定

右皆半分造合足一臈法也而此數半臈合
之中入青木香此合物不入之

東三條院 院字 巴殿院女御 一條院后
入道前大臣兼一舍院后

沈八兩一分 占唐一分三朱 甲香三兩二分

甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分

麝香二分 薰陸一分

沈四兩	白檀四分	丁香二分	麝香一分
沈八兩二分	白檀二分	丁香二分	麝香一分
甘松一分	白檀一分	丁香二分	麝香一分
麝香二分	白檀一分	丁香二分	麝香一分
沈四兩一分	白檀一分	丁香二分	麝香一分
甘松二分	白檀二分	丁香二分	麝香一分
麝香二分	白檀二分	丁香二分	麝香一分
沈八兩二分	白檀二分	丁香二分	麝香一分
甘松一分	白檀一分	丁香二分	麝香一分
麝香二分	白檀一分	丁香二分	麝香一分

沈四兩	占唐四朱半	甲香二兩三分
甘松三朱	白檀二分一朱半	丁香二兩一分
麝香一分	薰陸三朱 <small>小定</small>	
小一條皇后 <small>大納言公任同用之</small>		
沈八兩二分	占唐一分三朱	甲香三兩二分
甘松一分	白檀二分三朱	丁香二兩二分
薰陸一分	麝香二分 <small>已上小六兩二分 大五兩一分</small>	
沈四兩一分	占唐四朱余	甲香一兩三分 <small>三朱アヘシ</small>
甘松三朱 <small>小粒</small>	白檀一分一朱余	丁香一兩一分
麝香一分	薰陸三朱 <small>已上小八兩</small>	
沈二兩二分一朱	占唐三朱	甲香一兩二分
甘松二朱	白檀五朱	丁香三分二朱
麝香四朱	薰陸二朱 <small>已上小五兩一分四朱</small>	
小一條院 <small>諱教明 三条院太子 母皇后嬪子</small>		
沈八兩二分	占唐一分三朱	甲香三兩一分
甘松一分	白檀二分三朱	丁香二兩二分
麝香二分	薰陸一分	

件方承保三年三月晦日典薬頭雅忠朝臣
 注送之父忠覺入道於小一条院所写取也
 忠覺自筆也
 山田尼 小一条皇后侍女 山田中務 後拾遺作者 因幡守致良女
 沈八両二分 丁子三分二分 占唐一分二分
 甲香三分 甘松一分 白檀二分
 麝香二分 薰陸一分
 尼云梅花には薰陸は両数すこしたらさて
 いるへし
 沈二両四朱 甘松二朱 甲香二分二分
 白檀二朱 丁子二分四朱 麝香四分
 いまふたくさの香いるなれと名たしかに
 しろす
 二条関白 教通 関白太政大臣従一位 准公三男
 沈八両二分 占唐一分三分 甲香二両二分
 甘松一分 白檀二分三朱 丁子二両二分
 麝香二分 薰陸一分

件方承保三年三月晦日典薬頭雅忠朝臣
 注送之父忠覺入道於小一条院所写取也即
 忠覺自筆也
 山田尼 小一条皇后侍女 山田中務 後拾遺作者 因幡守致良女
 沈八両二分 丁子三分三分 占唐一分三分
 甲香三分 甘松一分 白檀三分
 麝香二分 薰陸一分
 尼云梅花には薰陸は両数すこしたらさて
 いるへし
 沈二両四朱 甘松二朱 甲香二分二分
 白檀二朱 丁子二分四朱 麝香四分
 いまふたくさの香いるなれと名たしかに
 しろす
 二条関白 教通 関白太政大臣従一位 准公三男
 沈八両二分 占唐一分三分 甲香二両二分
 カシセウ 甘松一分 白檀二分三朱 丁子二両二分
 麝香二分 薰陸一分

治曆四年四月六日被合梅花一臈大香十五
每二二五分 日葛合定十六兩一分三朱
堀川右大臣 賴宗 從二位大納言 道一 公三男

沈香八兩 占唐 甲香二兩二分
白檀二分 麝香二分
薰陸二分 丁子二兩二分

參議師成 從二位 小一条大納言時孫 中納言連任男 或本二分可用心
沈香八兩二分 占唐一分三朱 甲香二兩
甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分
麝香二分 薰陸一分 已上小十五兩三分

沈香四兩一分 占唐四朱余 甲香一兩一分三朱
甘松三朱 白檀一分一朱余 丁子一兩一分
麝香一分 薰陸三朱 已上小八兩

或說
甘松香花一分 沈七兩三分 藿香一分四朱
白檀一分三朱 分二 熟麝金三分 安息二兩一分
不知誰人

沈八兩 磨陶一分 甲香三兩二分
甘松二分 麝香二分 薰陸二分
丁子二兩二分

沈香八兩二分 占唐一分三朱 甲香二兩
甘松一分 白檀二分三朱 丁子二兩二分
麝香二分 薰陸一分 已上小十五兩三分

沈香四兩一分 占唐四朱余 甲香一兩一分三朱
甘松三朱 白檀一分一朱余 丁子一兩一分
麝香一分 薰陸三朱 已上小八兩

或說
甘松香花一分 沈七兩三分 藿香一分四朱
白檀一分三朱 分二 熟麝金三分 安息二兩一分
不知誰人

沈八兩 磨陶一分 甲香三兩二分
甘松二分 麝香二分 薰陸二分
丁子二兩二分

出向葉 擬荷香也 夏月健能芬香

公忠朝臣 天曆六年二月廿一日甲午進之

甘松一分 沈七兩二分 甲香二兩二分
 白檀二朱 丁子二兩二分 藿香四朱
 麝金二分

可枳花一分 沈七兩二分 甲香二兩二分
 白檀二朱 熟麝金二分 藿香四朱
 丁子二兩二分 安息一分 甲香一兩一分
 可枳三朱 沈三兩二分 藿香二朱
 白檀一朱 熟麝金一分 藿香二朱
 丁子一兩一分

山田尼

くらすれ花の、いさういさう
 一臍をこけいさうわらてあそぶ
 沈二兩四分 甘松二朱 甲香三分二朱
 白檀二朱 丁子二分四朱 麝香四朱
 いまふたくさの香いるなれとなし
 かにしらす

荷葉 擬荷香也 夏月殊能芬芳

公忠朝臣 天曆六年二月廿一日甲午進之

甘松一分 沈七兩二分 甲香二兩二分
 白檀二朱 丁子二兩二分 藿香四朱
 麝金二分

甘松花一分 沈七兩二分 甲香二兩二分
 白檀二朱 熟麝金二分 藿香四朱
 丁子二兩二分 安息一分 甲香一兩一分
 甘松三朱 沈三兩二分 藿香二朱
 白檀一朱 熟麝金一分 藿香二朱
 丁子一兩一分

山田尼

はちすの花のかとそいふなる
 一臍をミつにワかちてあはする
 沈二兩四分 甘松二朱 甲香三分二朱
 白檀二朱 丁子二分四朱 麝香四朱
 いまふたくさの香いるなれとなし
 かにしらす

或説
 甘松香花一分 沈七兩二分 藿香一分四分
 白檀一分三朱已上 熟鬱金二分 安息二兩一分
 不知誰人
 甘松一分 沈七兩二分 甲香二兩二分
 白檀二朱或三 丁子二兩二分 藿香一分四分
 熟鬱金二分 安息一分
 侍從 亦名拾遺 補闕
 秋の蕭然として心にくまおりによそへ
 閑院大臣
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩已上
 甘松一分 熟鬱金一兩已上
 賀陽宮 或号院可尋之
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩
 甘松一分 鬱金一分
 滋宰相 十一皇太后方面之
 又入道一品宮安房陸奥方面之
 沈四兩二分 丁子二兩二分 甲香一兩二分
 甘松一分已上 大九兩四朱 小廿七兩二分

或説
 甘松香花一分 沈七兩二分 藿香一分四分
 白檀一分三朱已上 熟鬱金二分 安息二兩一分
 不知誰人
 甘松一分 沈七兩二分 甲香二兩二分
 白檀二朱或三 丁子二兩二分 藿香一分四分
 熟鬱金二分 安息一分
 侍從 亦名拾遺 補闕
 秋の蕭然として心にくまおりによそへ
 閑院大臣
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩已上
 甘松一分 熟鬱金一兩已上
 賀陽宮 或号院可尋之
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩
 甘松一分 鬱金一分
 滋宰相 小一条皇后方面之
 又入道一品宮安房陸奥方面之
 沈四兩二分 丁子二兩二分 甲香一兩二分
 甘松一分已上 大九兩四朱 小廿七兩二分

小野宮
 沈四兩二分 丁子二兩二分 甲香二兩二分已未
 熟鬱金一兩 甘松一兩已上
 染殿宮
 沈四兩大 丁子二兩 甲香一兩
 甘松一分一朱 麝香三朱 占唐一分
 或諸香合蜜之後可和麝也此說可秘
 公忠朝臣
 沈六兩 丁子 甲香一兩二分
 甘松二分 熟鬱金二分 占唐三朱昔小
 大和常生
 沈四兩 丁子二兩 甲香二兩或本一
 樽金二分舊無似 甘松二分一朱已上
 沈四兩 丁子二兩 甲香二分
 甘松二朱 麝香二朱
 右二方是藏人所小舍人大和常生之秘方也
 件常生延喜聖代與公忠朝臣同時相並奉
 合香之事者也

小野宮

沈四兩二分 丁子二兩二分 甲香二兩二分已未

熟鬱金一兩 甘松一兩已上

染殿宮

沈四兩大 丁子二兩 甲香一兩

甘松一分一朱 麝香三朱 占唐一分

或諸香合蜜之後可和麝也此說可秘

公忠朝臣

沈六兩 丁子 甲香一兩二分

甘松二分 熟鬱金二分 占唐三朱昔小

大和常生

沈四兩 丁子二兩 甲香二兩或本一

樽金二分舊無似 甘松二分一朱已上

沈四兩 丁子二兩 甲香二分

甘松二朱 麝香二朱

右二方是藏人所小舍人大和常生之秘方也

件常生延喜聖代與公忠朝臣同時相並奉

合香之事者也

八条大将 字治國自用此方
 沈四兩一分 或二分 丁子二兩二分 甲香二兩 已上八
 甘松一兩 熟麝金一兩已上小
 大将者八条式部卿親王之孫也 然則傳來
 方可同承和方而有相誤甚可疑之
 朱雀院 東三條院用之
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩
 甘松一分三朱 磨陶一分三朱 已上
 右方自天曆御時所令傳給也取煎蜜微
 火以春篩占唐入蜜且煎且攪撥合了
 之後入諸搗香以匙調和先以目竿計
 搗香程調占唐之蜜々程多於香少於
 香尤為拙以能均成為巧合了搗三十六
 百杵畢取出作丸斤量之後入瓷壺
 埋水邊得陽氣之地
 藤原致忠 從四位上右馬頭 大納言左方男
 沈四兩二分 丁子二兩二分 甲香二兩
 麝香一分 甘松一兩
 藤原保昌 正四位下攝津守 致忠男

八条大将 字治國自用此方
 沈四兩一分 或二分 丁子二兩二分 甲香二兩 已上八
 甘松一兩 熟麝金一兩已上小
 大将者八条式部卿親王之孫也 然則傳來
 方可同承和方而有相誤甚可疑之
 朱雀院 東三條院用之
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩
 甘松一分三朱 磨陶一分三朱 已上
 右方自天曆御時所令傳給也取煎蜜微
 火以春篩占唐入蜜且煎且攪撥合了
 之後入諸搗香以匙調和先以目竿計
 搗香程調占唐之蜜々程多於香少於
 香尤為拙以能均成為巧合了搗三十六
 百杵畢取出作丸斤量之後入瓷壺
 埋水邊得陽氣之地
 藤原致忠 從四位上右馬頭 大納言左方男
 沈四兩二分 丁子二兩二分 甲香二兩
 麝香一分 甘松一兩
 藤原保昌 正四位下攝津守 致忠男

沈四兩 丁子二兩 甲香一兩 已上夫
 甘松一兩 熟鬱金一兩 占唐一分 已上小
 右方父子相違如何
 小一條院
 沈四兩二分 丁子二兩二分 甲香一兩二分 已上夫
 熟鬱金二兩 甘松一兩 已上小
 右方雅忠朝臣注送之委見梅花方
 山田尼
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩
 熟鬱金一分 若無人甘松一分一朱
 二條関白
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩 已上夫
 甘松一兩
 治曆四年四月六日被合侍従一臈小香七
 兩二分四朱
 堀川右大臣
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩
 甘松一分
 此方殊芳若有秘說歟不注大小兩不審

沈四兩 丁子二兩 甲香一兩 已上夫
 甘松一兩 鬱金一兩 占唐一分 已上小
 右方父子相違如何
 小一條院
 沈四兩二分 丁子二兩二分 甲香一兩二分 已上夫
 熟鬱金二兩 甘松一兩 已上小
 右方雅忠朝臣注送之委見梅花方
 山田尼
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩
 熟鬱金一分一朱 若無人甘松一分一朱
 二條関白
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩 已上夫
 甘松一兩
 治曆四年四月六日被合侍従一臈小香七
 兩二分四朱
 堀川右大臣
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩
 甘松一分
 此方殊芳若有秘說歟不注大小兩不審

赤旗師威

沈四兩二分 丁子二兩二分 甲香一兩二分

麝香一兩 甘松一兩已上小 大九兩四朱

或說占唐大一分 又說麝香已上停了麝香
を小二二分加或黃鬱金を用らと

菊化

菊香は、よに分れしと也とん

不知誰人

沈四兩 丁子二兩 甲香一兩二分

薰陸一分 麝香二分 甘松一分

清慎云々菊化方者長生久視之香也
用之薰之者却老增壽枇杷左大臣
習傳之亭子院前栽合左方用菊花
方右方用落葉方云々我好此方常
用之但麝香一分可令加進之菊
花盛開其香芬馥時析花置傍和
合之或人云舊干菊花一兩許加之
云々水邊菊下埋之經二七日許入密瓶
堅封口
取出又經二七日許用之若有急用之
不用此說也

參議師成

沈四兩二分 丁子二兩二分 甲香一兩二分已上

熟鬱金一兩 甘松一兩已上小 大九兩四朱

或說占唐大一分 又說鬱金を停て麝香

を小二二分加或黃鬱金を用云々

菊花

麝香に、たるにほひにやあらむ

不知誰人

沈四兩 丁子二兩 甲香一兩二分

薰陸一分 麝香二分 甘松一分

清慎云云菊花方者長生久視之香也
聞之薰之者却老增壽枇杷左大臣
習傳之亭子院前栽合左方用菊花
方右方用落葉方云々我好此方常
用之但麝香一分可令加進之菊
花盛開其香芬馥時析花置傍和
合之或人云舊干菊花一兩許加之
云々水邊菊下埋之經二七日許入密瓶
堅封口
取出又經二七日許用之若有急用者
不用此說而已

落葉 秋のゆふくしくれするほとみち
べらあけとゆふくしくれするほとみち

不知誰人

沈四両 丁子二両
麝香二分 甲香一両二分
白檀一分

黒方 又云薰衣香此説誤歟
冬注水時深有某句不被封裏

閑院大臣 長良 清隆 元名等同之

沈四両 丁子二両
甲香一両二分 麝香二分
白檀一分 薰陸一分

賀陽宮

沈四両 丁子二両
甲香一両 麝香二分
白檀一分 薰陸一分

滋源宰相 小一余皇后與此方無相違公任卿同用之
入道一品宮女房隆興方同之
參入讓院又同之

沈四両 丁子二両
甲香一両 麝香二分
白檀一分 薰陸一分

落葉 のゆふくしくれするほとみち

不知誰人

沈四両 丁子二両
薰陸一分 麝香二分
甘松一分 甲香一両二分

黒方 又云薰衣香此説誤歟
冬注水時深有某句不被封裏

閑院大臣 長良 清隆 元名等同之

沈四両 丁子二両
甲香一両二分 麝香二分
白檀一分 薰陸一分

賀陽宮

沈四両 丁子二両
甲香一両 麝香二分
白檀一分 薰陸一分

滋源宰相 小一余皇后與此方無相違公任卿同用之
入道一品宮女房隆興方同之
參入讓院又同之

沈四両 丁子二両
甲香一両 麝香二分
白檀一分 薰陸一分

沈六兩	丁子二兩	甲香二兩一分
薰陸一分三朱	白檀一分二朱	麝香二分 <small>已上小</small>
沈四兩	丁子二兩	麝香二分 <small>已上小</small>
薰陸一分	白檀一分	麝香二分 <small>已上小</small>
四條大納言 <small>小野宮同之</small>	沈四兩	丁子二兩
沈四兩	丁子二兩	甲香一兩二分
白檀一分	薰陸一分	麝香一分
八条宮	沈四兩	丁子二兩
沈四兩	丁子二兩	白檀一分
甲香一兩二分 <small>或四</small>	麝香二分 <small>或兩</small>	薰陸一分 <small>已上小</small>
直子朝臣所献也	或云至要方也延喜六年二月三日典侍滋野	
沈六兩	丁子二兩	白檀一分二朱
甲香一兩一分	麝香三分	薰陸一分三朱 <small>已上</small>
沈八兩	丁子三兩	麝香三兩
薰陸二兩	白檀二兩	甲香三兩
蘇合二兩 <small>已上</small>	蜜五合	

沈六兩	丁子三兩	甲香二兩一分
薰陸一分三朱	白檀一分二朱	麝香三分 <small>已上小</small>
沈四兩	丁子二兩	甲香一兩二分
薰陸一分	白檀一分	麝香二分 <small>已上小</small>
四條大納言 <small>小野宮同之</small>	沈四兩	丁子二兩
沈四兩	丁子二兩	甲香一兩二分
白檀一分	薰陸一分	麝香一分
八条宮	沈四兩	丁子二兩
沈四兩	丁子二兩	白檀一分
甲香一兩二分 <small>或四</small>	麝香二分 <small>或兩</small>	薰陸一分 <small>已上小</small>
直子朝臣所献也	或云至要方也延喜六年二月三日典侍滋野	
沈六兩	丁子三兩	白檀一分二朱
甲香一兩一分	麝香三分	薰陸一分三朱 <small>已上</small>
沈八兩	丁子三兩	麝香三兩
薰陸二兩	白檀二兩	甲香三兩
蘇合二兩 <small>已上</small>	蜜五合	

公忠朝臣
 沈四兩 丁子二兩 中粒 甲香二分 十粒
 薑陸一分 小粒 白檀一分 十粒 麝香二分
 上品香等頗輕可用意之若例香如兩數
 大和常生
 沈三兩 丁子一兩二分 甲香一兩一分
 白檀一分 薑陸一分 麝香二分
 八条大将
 沈四兩二分 丁子二兩二分 甲香二兩一分
 麝香二分 白檀二分 薑陸三分 上粒
 可疑之由委見侍從
 朱雀院 東三条院同之
 沈四兩二分 薑陸一分 白檀一分
 丁子二兩 甲香一分 麝香一分 上粒
 藤原國轉 從五位下前出羽守
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩二分 上粒
 麝香二分 白檀二分 薑陸二分 上粒

公忠朝臣
 沈四兩 丁子二兩 小粒 甲香二分 小粒
 薰陸一分 小粒 白檀一分 小粒 麝香二分
 上品香等頗輕可用意之若例香如兩數
 大和常生
 沈三兩 丁子一兩二分 甲香一兩一分
 白檀一分 薰陸一分 麝香二分
 八条大将
 沈四兩二分 丁子二兩二分 甲香二兩二分
 麝香二分 白檀二分 薰陸三分 已上大
 可疑之由委見侍從
 朱雀院 東三条院同之
 沈四兩二分 薰陸一分 白檀一分
 丁子二兩 甲香一分 麝香一分 四朱 已上
 藤原國轉 從五位下前出羽守
 沈四兩 丁子二兩 甲香一兩二分 上粒
 麝香二分 白檀二分 薰陸二分 已上大

藤原保昌	沈四兩	丁香二兩	白檀一分
沈四兩	麝香二分	薑陸一分 <small>已未</small>	
甲香一兩	丁香三兩	白檀一分二朱	
沈六兩	麝香三分	薑陸一分 <small>已未</small>	
甲香一兩二分			
山田尼	沈四兩	丁香二兩	麝香二分
沈四兩	甲香一兩二分	薑陸一分	白檀一分
甲香一兩二分	尼のいはく、ろほうには麝香をす、め		
二条關白	沈四兩	丁香二兩	白檀一分
沈四兩	甲香一兩	麝香二分	薑陸一分 <small>已未</small>
甲香一兩	香八兩	甘葛八兩	
堀川右大臣	治曆四年四月六日被合一臍		
沈四兩	沈四兩	丁香二兩	白檀一分
麝香二分	麝香二分	甲香一兩二分	薑陸一分 <small>已未</small>

藤原保昌

沈四兩 丁香二兩 白檀一分

甲香一兩 麝香二分 薑陸一分已未

沈六兩 丁香三兩 白檀一分二朱

甲香一兩二分 麝香三分 薑陸一分已未

山田尼

沈四兩 丁香二兩 麝香二分

甲香一兩二分 薑陸一分 白檀一分

尼のいはく、ろほうには麝香をす、め
たるいとかうはし

二条關白

沈四兩 丁香二兩 白檀一分

甲香一兩 麝香二分 薑陸一分已未

香八兩 甘葛八兩

堀川右大臣

治曆四年四月六日被合一臍

沈四兩 丁香二兩 甲香一兩二分

麝香二分 薑陸一分已未 白檀一分但小二分可分
田子二量ヒテ天

坎方 <small>并証黑方</small>	沈二兩	丁香二兩	麝香二分
承和秘方	沈一兩	丁香一分	麝香一分
黄衣香 <small>一名新身香</small>	甲香一兩二分	白檀一分	薰陸一分 <small>已大</small>
八条宮	沈九兩	甲香五兩	青木香二兩
	白芷一兩	丁子一兩	白檀二兩
	占唐一兩	蘇合一兩半	麝香半兩
公忠朝臣	沈三兩	丁子五兩	鬱金二兩
	甘松二兩	白檀二兩	香附子一兩
	麝香一兩 <small>或麝香一兩</small>		

能合て絹袋に入て無透間き宮中に
置て其上を又裏て能暖にして酒
作る麝のうへに置てにほはせよ

或方

坎方 <small>或証黑方</small>	承和秘方	沈四兩	丁香二兩	麝香二分
		甲香一兩一分	白檀一分	薰陸一分 <small>已大</small>
		薰衣香 <small>一名新身香</small>		
		八条宮	沈九兩	甲香五兩
			白芷一兩	丁子一兩
			占唐一兩	蘇合一兩半
			公忠朝臣	沈三兩
				丁子五兩
				鬱金二兩
				香附子一兩
				麝香一兩 <small>或麝香一兩</small>

能合て絹袋に入て無透間き宮中に
置て其上を又裏て能暖にして酒
作る麝のうへに置てにほはせよ

當歸 桂心 檳榔子已上各二兩
 麝香二分
 唐吉二分
 右十物細搗絹篩為粉以蜜和搗一千杵
 然後出之丸如棗核口含咽汁盡一夜
 三日利含十二丸當日自覺口香五日
 自覺麝香十日衣被亦香廿日送風行
 他人聞香廿五日洗手而水落地香一月已
 後抱兒々亦香唯忌蒜及五辛等不
 只口香體潔亦治万病一方有香附子
 唐僧長秀四作薰衣香用蜜和合是
 奇方也作瓷盆但疑下字應是穿其底重
 四五口許其最上盆出小煙之孔穿五處
 以坭或時蓋寒或時取去以薰爐居盆
 下割沈香燃之其煙多着盆裏而或
 如露落爐邊其時止也出爐而居外取
 盆以木倍良判取其脂入一器之中取
 沈香任法春篩和件沈脂而盛溫器之
 內納量取之任用其香極芬芳也

當歸 桂心 檳榔子已上各二兩
 麝香二分

右十物細搗絹篩為粉以蜜和搗一千杵
 然後出之丸如棗核口含咽汁盡一夜
 三日利含十二丸當日自覺口香五日
 自覺麝香十日衣被亦香廿日送風行
 他人聞香廿五日洗手而水落地香一月已
 後抱兒々亦香唯忌蒜及五辛等不
 只口香體潔亦治万病一方有香附子
 唐僧長秀四作薰衣香用蜜和合是
 奇方也作瓷盆但疑下字應是穿其底重
 四五口許其最上盆出小煙之孔穿五處
 以坭或時蓋寒或時取去以薰爐居盆
 下割沈香燃之其煙多着盆裏而或
 如露落爐邊其時止也出爐而居外取
 盆以木倍良判取其脂入一器之中取
 沈香任法春篩和件沈脂而盛溫器之
 內納量取之任用其香極芬芳也

洛陽薰衣香 出淳和院但志傳可觀也
 沈五兩 甲香二兩二分 丁子一兩
 白檀一分已上 麝香一分 占唐一分
 蘇合一分已上 丁枝二兩大
 會昌薰衣香 臨時朝臣所獻也
 沈三兩大 丁子二兩大 甲香一兩二分大
 白檀一分四朱小 青木香二分四朱小 占唐一分四朱小
 蘇合二分小 麝香四朱大
 增損薰衣香 八家密所上
 沈三兩 甲香一兩二分 白檀一分
 青木香二分 丁子一兩 占唐一分二朱
 麝香一朱已上
 增損化度寺
 沈一斤 薰陸二兩 香附子二分
 甲香一兩 丁子一兩 零陵香二分
 蒼香二分 艾納二兩 麝香二分
 蘇合三兩已上
 薰衣香 或注薰衣香

洛陽薰衣香 出淳和院但志傳可觀也

沈五兩 甲香二兩二分 丁子一兩

白檀一分已上 麝香一分 占唐一分

蘇合一分已上 丁枝二兩大

會昌薰衣香 臨時朝臣所獻也

沈三兩大 丁子二兩大 甲香一兩二分大

白檀一分四朱小 青木香二分四朱小 占唐一分四朱小

蘇合二分小 麝香四朱大

增損薰衣香 八家密所上

沈三兩 甲香一兩二分 白檀一分

青木香二分 丁子一兩 占唐一分二朱

麝香一朱已上

增損化度寺

沈一斤 薰陸二兩 香附子二分

甲香一兩 丁子一兩 零陵香二分

蒼香二分 艾納二兩 麝香二分

蘇合三兩已上

薰衣香 或注薰衣香

寬平六年九月十日八條一品宮於御前
寫給百和香一方也 上稱皇方是誤歟
之為治院

化度寺百和香

沈六斤 代氏蜜 薰陸二斤 甲香七兩
香附子三兩 丁子二兩 零陵四兩
藿香二兩 艾納一兩 代青木香 麝香二兩 代白檀
蘇合七兩 或三兩 蜜一斗 以上小斤

右十種末之蜜去沫令冷淨瀦和搗千杵密封 或作蜜用錫蓋之飯是服用之 七日後即成

令人體香

甘草 瓜子 大棗
松皮 依子 木葉

已上分等末喰服方寸匕三也百日夜服

浴湯香

茵苳香一兩 零陵一兩 茅香一兩
甘松一兩

右八水作湯治之任意量多少以足為限
或本加澤蘭一兩

寬平六年九月十日八條一品宮於御前
寫給百和香一方也 亦稱皇方是誤歟

化度寺百和香

沈六斤 代氏蜜 薰陸二斤 甲香七兩
香附子三兩 丁子二兩 零陵四兩
藿香二兩 艾納一兩 代青木香 麝香三兩 代白檀
蘇合七兩 或三兩 蜜一斗 以上小斤

右十種末之蜜去沫令冷淨瀦和搗千杵密封 或作蜜用錫蓋之飯是服用之 七日後即成

令人體香

甘草 瓜子 大棗
松皮 依子 木葉

已上分等末喰服方寸匕三也百日夜服

浴湯香

茵苳香一兩 零陵一兩 茅香一兩
甘松一兩

右以水作湯治之任意量多少以足為限
或本加澤蘭一兩

落梅公主潤面膏方
 新雕經驗藥方
 酥一斤真貯於銀器
內搗大成油用 鵝梨汁少許 海塩花一面研
 馬牙消一面 柳汁少許
 右件藥與諸般都入酥內用東南嫩柳枝
 子七莖長七寸用生緋線遂寸札將此
 枝子早晨面向東吸田氣噴在酥內將
 一莖枝子右撈二十七轉其柳枝子頭
 微黃色用刀子於線上截却如此法七
 莖柳枝子直候使盡為度此膏以成用
 淨合子盛貯以代面油使用

丹陽公主甲煎方或莫尼字煎
 沈香六兩 丁香四兩 風香膏二兩或本
 青木香二兩 麝香一兩 淺香四兩
 棗十枚去皮 甲香三兩
 凡八物剉蜜一合和若柑裹綿或本
棗作
 幕作棧久酒油六升零陵香四兩甘
 松二兩綿幕着油裹煎須緩火可
 四沸油即上去香草香油着柑裹
 出口將小香柑合大柑口温紙纏口塗封

新雕經驗藥方
 酥一斤真貯於銀器
內搗大成油用 鵝梨汁少許 海塩花一面研
 馬牙消一面 柳汁少許
 右件藥與諸般都入酥內用東南嫩柳枝
 子七莖長七寸用生緋線遂寸札將此
 枝子早晨面向東吸田氣噴在酥內將
 一莖枝子右撈二十七轉其柳枝子頭
 微黃色用刀子於線上截却如此法七
 莖柳枝子直候使盡為度此膏以成用
 淨合子盛貯以代面油使用

丹陽公主甲煎方或莫尼字煎
 沈香六兩 丁香四兩 風香膏二兩或本
 青木香二兩 麝香一兩 淺香四兩
 棗十枚去皮 甲香三兩
 凡八物剉蜜一合和若柑裹綿或本
棗作
 幕作棧久酒油六升零陵香四兩甘
 松二兩綿幕着油裹煎須緩火可
 四沸油即上去香草香油着柑裹
 出口將小香柑合大柑口温紙纏口塗封

<p>三七和須多着大從且至午過午即酒 緩火至四更即却火至明從於發者就 甲煎</p>	<p>建醫師衣香方 此方若重衣香</p>	<p>沈香八兩 蘇合半兩 甲香一兩 龍腦一錢重</p>	<p>丁香七兩 白膠半兩 薰陸一分 麝香一錢重</p>	<p>白檀二兩 蔗糖一兩 麝香一錢重</p>
<p>香粉方 出極要方</p>	<p>白附子 白芷 青木香 藿香 麻黃根</p>	<p>伏苓 白劍 雞舌 麝香一分 滑石 粉英</p>	<p>白朮 白檀 零陵 高根 粉英</p>	<p>已上各々檮飾以粉英取包青黑者麈 檮沙飾貯囊中置大合以粉覆之蜜 閉七日後取之粉香即成而白如本俗 為香粉不問白黑以和為粉々雖香而 包主黑必須分引用之不悉和粉</p>

<p>可七分須多着大從且至午過午即須 緩火至四更即却火至明從冷發看成 甲煎</p>	<p>建醫師衣香方 此方若重衣香</p>	<p>沈香八兩 蘇合半兩 甲香一兩 龍腦一錢重</p>	<p>前香七兩 白膠半兩 薰陸一分 麝香一錢重</p>	<p>白檀二兩 蔗糖一兩 麝香一錢重</p>
<p>香粉方 出極要方</p>	<p>白附子 白芷 青木香 藿香 麻黃根</p>	<p>伏苓 白劍 雞舌 麝香一分 滑石 粉英</p>	<p>白朮 白檀 零陵 高根 粉英</p>	<p>已上各々檮飾以粉英取包青黑者麈 檮沙飾貯囊中置大合以粉覆之蜜 閉七日後取之粉香即成而白如本俗 為香粉不問白黑以和為粉々雖香而 包主黑必須分引用之不悉和粉</p>

麝香二分同錢重

右香細搗着蜜和供入鐵臼搗五百杵如

彈丸供養如來

天寶七載六月師主景尊干時在

茅山太平觀記之十二載八月酉

取日本國使永生府兵曹參羊

崔觀祐

金剛頂經香

沈半斤 蘇合半斤 薑薑半兩

白檀半斤 安息半斤 丁香四兩

龍腦一兩

右七味搗篩用蜀乾糖及濕砂糖和

之合調更入臼中搗一千此方出西方

是大悲尊吉說

觀世音菩薩留濕香

傳在化度寺此方是洛京僧錄弟子

崇知大師傳白檀香六斤薑薑二斤

麝香二分同錢重

右香細搗着蜜和供入鐵臼搗五百杵如

彈丸供養如來

天寶七載六月師主景尊干時在

茅山太平觀記之十二載八月寫

取日本國使永生府兵曹參羊

崔觀祐

金剛頂經香

沈半斤 蘇合半斤 薰陸半兩

白檀半斤 安息半斤 丁香四兩

龍腦一兩

右七味搗篩用蜀乾糖及濕砂糖和

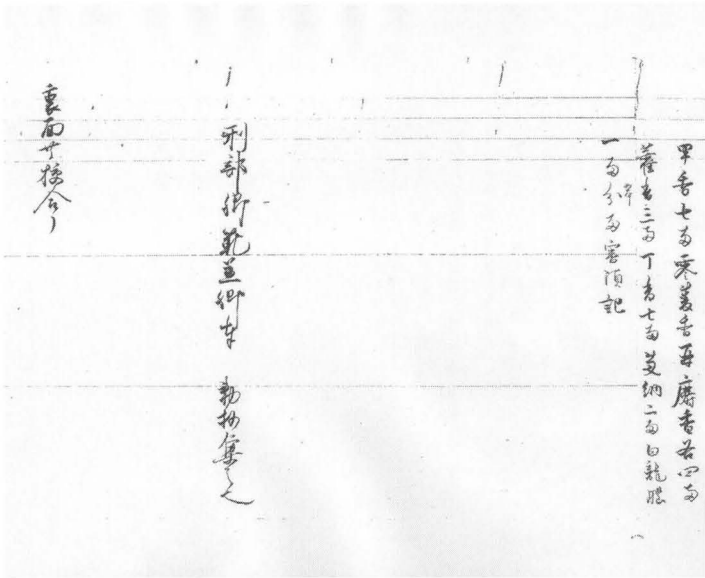
之合調更入臼中搗一千此方出西方

是大悲尊吉說

觀世音菩薩留濕香

傳在化度寺此方是洛京僧錄弟子

崇知大師傳與沈香六斤薰陸二斤



甲香七兩零菱香再麝香各四兩
 藿香三兩丁香七兩艾納二兩白龍腦
 一兩分兩審湏記

刑部卿範兼卿奉
 勅抄集之

裏面共校合了

甲香七兩零菱香再麝香各四兩
 藿香三兩丁香七兩艾納二兩白龍腦
 一兩分兩審湏記

刑部卿範兼卿奉
 勅抄集之也

裏面共校合了

【上卷裏書】

此方同滋宰相并小一条皇后方皇后者與師成無相違
尤可然滋宰相又令同其說歟

小一条皇后并陸奥只合種兩數ノ同ノミナラス
所註之說亦同本誤歟又傳同說歟

仲女房陸奥者朝元之娘肥前々司完成之妹也
并置上洛仍在鎮西安樂寺邊云々

公任卿和香之傳不見但廉義公者八条大将養子也用之
所習傳也亦清禎公殊和合薰物若其傳歟

台嶺有戒源法橋者談曰戒源母者故四条太后之侍女也
仍成人於彼宮中太后曰我和合薰物而誤入過薰陸之
分數者于時公任卿參入太后示給云所合之薰物可
被試者取火類薰爐燒之被申云薰陸頗過太后
殊褒美然則納言長此道尤可謂至極歟

貞主渡唐習傳和合雜香方等云々但見家傳不任
遣唐使可尋之

A

此方同滋宰相并小一条皇后方皇后者與師成無相違
尤可然滋宰相又令同其說歟

241

B

小一条皇后并陸奥只合種兩數ノ同ノミナラス
所註之說亦同本誤歟又傳同說歟

161

件女房陸奥者朝元之娘肥前々司完成之妹也
弃置上洛仍在鎮西安樂寺邊云々

163

C

公任卿和香之傳不見但廉義公者八条大将養子也用之
所習傳也亦清禎公殊和合薰物若其傳歟

76

台嶺有戒源法橋者談曰戒源母者故四条太后之侍女也
仍成人於彼宮中太后曰我和合薰物而誤入過薰陸之
分數者于時公任卿參入太后示給云所合之薰物可
被試者取火類薰爐燒之被申云薰陸頗過太后
殊褒美然則納言長此道尤可謂至極歟

80

D

貞主渡唐習傳和合雜香方等云々但見家傳不任
遣唐使可尋之

24